

# 10月10日（火）後期始業式

後期始業式では、校長先生の話の中で、以下のような内容がありました。

## 「鎖につながれた象（ゾウ）」

サーカスのゾウは、ロープで杭につながれてじっとしています。杭を引き抜くだけの力を持っているのに、なぜその力を発揮して逃げ去らないのでしょうか？答えは簡単。「自分にはたいした力がない」と思い込んでいるからです。象は子どものころ、鎖で杭につながれて毎日を過ごします。小さいので大きな力がなく、杭を引っっこ抜くことができません。

ゾウは大きくなってからも、その思い込みにとらわれ続けます。調教師はそれを知っていますから、鎖のかわりにロープを使ってゾウを杭につなぎとめます。大きな象にとって、杭を引っっこ抜くくらいはやすいはずですが、ゾウは「自分にはたいした力がない」と思い込んでいるから、何もしないでじっとしています。

「ホルヘ・ブカイ氏『鎖につながれた象』より」

この話には、「できない」という固定観念にとらわれないで、無限の可能性を信じて挑戦し、「なりたい自分になる大切さや楽しさ」を味わってほしいという願いが込められています。「じぶんはかならずできる」と信じて挑戦する、後期のほづみっ子の活躍が楽しみになりました。

また、2名の児童が、前期を振り返って、後期に頑張りたいことを、全校の仲間の前で堂々と話すことができました。「じぶんはかならずできる」「もっとじぶんはできる」と、高い目標をもって取り組もうとする仲間の話聞いて、「わたしもできそうだ」と勇気をもらった児童が多くいました。

そして、前期終業式に引き続き、校長先生や仲間の話聞いて思ったことを、高学年の児童1名が発表しました。「わたしもがんばります。」と宣言する姿は、下学年生の憧れとなりました。



←後期始業式の感想発表

前期終業式の感想発表

